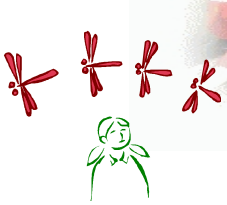
スローライフだより　３６

～Think globally, act locally～

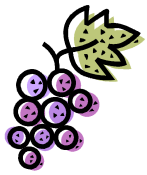
第３６号
特定非営利活動法人
スローライフ宮崎
〒880-2114　宮崎市大字富吉793番地1
TEL/FAX　0985-62-4233
http://www.slow-life.or.jp

9月19日(木)　晴
生き活き学習田の稲刈りを行いました！



行 事 報 告

8月	２８日	生目の杜運動公園運営会議
	２９日	第２回　三役会　役員会
9月	５日	めがね供養祭実行委員会打ち合わせ会議
	５日	生目の杜運動公園円形プロムナードコスモス播種
	６日	生目の杜運動公園円形はんぴドームペンタス植栽
	１９日	生目小学校５年生　生き活き学習田　稲刈り
１０月	１０日	めがね供養祭



生目の杜運動公園　ボランティア一斉清掃のお知らせ

日　　時:平成25年10月27日(日)　午前8:30～

集合場所:アイビースタジアム正面玄関前

ごみ拾い　小雨決行(事前申し込み不要です)

秋の夜長にちょこっと本の話

宮崎女性ネットワーク
萩原　尉子

芥川龍之介が２９歳のときの作品に『神々の微笑』という短編がある。主人公のオルガンティノは、戦国時代に日本で布教をした実在のイタリア人宣教師。３９年間も日本に住み日本語を話し、最後は長崎で没した。日本人は聡明だと認識しており、日本人からも「ウルガンバテレン」と呼ばれて親しまれていたそうだ。

あるタベ、オルガンティノは京都の南蛮寺で幻を見る。美しい国日本、気候も温和で人々は親しみやすく、近ごろは信徒も増えている。それなのに何か得体のしれない力の存在を感じて、不安を感じているオルガンティノ。そんな彼が見たのは「天の岩戸開き」の幻。岩の裂け目から光が洪水のように漲り、大勢の男女が「オオヒルメ（アマテラスオオミカミ）！オオヒルメ！」と歓喜するする声・・・・。

翌日、「この国の霊の一人」だと名乗る老人と問答する。「（キリスト教の唯一神である）デウスに勝つものはないはずだ」と言うオルガンティノに、老人は言う。「ことによるとデウス自身も、この国の土人に変わるでしょう。シナやインドも変わったのです。西洋も変わらなければなりません。我々は木々の中にもいます。浅い水の流れにもいます。どこにでも、またいつでもいます。お気をつけなさい。お気をつけなさい・・・・・・・」。

芥川は、日本に何が入ってきても「日本人が本質まで造り変えちゃうからね」とオルガンティノに言っているのだ。

四季の厳しい移ろいとともに生きることで、自然に感謝したり物を大切にしたりする心が、日本人には沁みついていると思う人は多いかもしれない。けれど、現代の日々の暮らしは自然とあまりにも遠く、代々受け継がれてきた季節ごとの行事や伝統も途絶え、食生活も急激に変化している。そのような状況では、自然を畏れ敬い、木々や水の流れに八百万の神々を感じる心を持ち続けることは難しいと思う。感じる心がないところに神様の存在もないだろうし、まして信じることなんてできないと思う。芥川の言うような、日本に潜在していた「本質から造りかえる力」もまた、とっくになくなっているのかもしれない。

さて、もう一冊。『クアトロ・ラガッツィ』（若桑みどり著）は、読みごたえのある上下巻。タイトルは４人の少年の意。ときは戦国時代、宮崎の西都市都於郡出身の伊東マンショを含む４人の天正少年使節が、ローマ教皇に謁見しに渡欧したことを軸に語られる壮大な歴史物語だ。近世日本は鎖国によって世界に向けてドアを閉ざし、やがて近代を準備するであろう思想や政治や文化をシャットアウトして「知識の窓を閉ざした」とある。鎖国するまでは緩やかに海外とつながり、キリシタン大名も続々と誕生し、織田信長は世界を見つめていた。さかのぼれば、日本に現存する最古の歴史書と言われる古事記も、東西を問わず海外とのつながりを感じさせるし、高天原から天孫降臨したというニニギノミコトは、どうやら朝鮮半島からの渡来人のようだ。そういえば高鍋藩主の秋月氏も、もともとは中国の漢をルーツとしている。

この本はマンショについて多く書かれているのはもちろんだが、その他にも大分のキリシタン大名だった大友宗麟が、日向にキリシタン王国を建設しようとして延岡に滞在したり、また耳川で大敗したりと宮崎を舞台としたところがいくつか出てくるのも県民としては興味そそられる。

この本の中の一節、「知識だけが人間を進歩させ、解放する」に、グッときた。

生目小学校5年生　生き活き学習田

9月19日(木)　稲刈り

秋晴れの稲刈り日和になりました。

稲刈りの手順や注意事項などをお話しました。

生徒さん達に鎌の使い方を実際に刈って
教えていきました。

腰をかがめての作業は大変でしたが、一生懸命に
刈っていきました。

だんだん作業を進めるにつれて、暑さも厳しくなって
いきましたが、みんなで励まし合って作業を進めました。

刈りとりが終わっていよいよ脱穀です。

順番に並んで脱穀を待ちます。稲束を落とさない
様にしっかり持ちました。

今年は、酷暑の影響でしょうか収穫量が例年の半分
程度でした。乾燥機にかけられる量に満たなかった
ので事務局前で一週間程度天日干しをしました。
今年は白米にして１５４kgの収穫でした。

めがね供養祭

１０月１０日の目の愛護デーに、不要になった「めがね」を生目神社にて供養し、供養されためがねを宮崎県ボランティア協会を通じて発展途上国へ寄贈しました。今年も県内外から８４５本のめがねを送って頂き、その中で使用可能な３９７本を寄贈しました。

生目の杜運動公園円形花壇植栽

９月５日～６日に円形花壇と南駐車場南側出入り口（柏原側）とはんぴドーム南西にコスモス、はんぴドーム北にペンタスを植栽しました。秋のプロスポーツ選手のキャンプの頃には色とりどりの花が咲きほこることでしょう。

10月16日の円形花壇です！

１０月～１月の予定

１０月 ２７日	生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃
１１月 ２２日	市民農園収穫祭
１２月　上旬	生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽
１月　下旬	生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃

委託業務関係

１０月～１月		
毎月第1火曜日	駐車場料金徴収員会議	スローライフ事務所
毎月第2火曜日	花壇管理者会議	スローライフ事務所
※　駐　車　場	土、日、祝日、キャンプ期間中	駐車場料金収納・送迎車両誘導（１０：００～１８：００）
※ 花 壇 管 理	随　　時	

お便り大募集！　　３７号(１月発行予定)、３８号（４月発行予定）

スローライフ宮崎では、皆さんからのお便りや、こんな企画があったらいいなという声を募集しています。
また、写真(返却いたします)も大歓迎！！お葉書やFAXをお待ちしていま～す。
(TEL/FAX 0985-62-4233)

編集後記

１０月下旬というのに、また台風２７号が発生し、日本に近づこうとしています。先月中旬にタネまきし順調に生育しているダイコン、ハクサイ、キャベツそして現在収穫している露地キューリ、秋ナス等もひとたまりもなくやられてしまうことでしょう。伊豆大島の土砂崩れ災害同様、自然の猛威にはさからうことはできません。ただただ宮崎を避けて北上することを願うだけ・・・・。農家のみなさんの“想い”を身にもって体験しています。　（長谷川）